

松東支店の取り組み

松東支店は小松市の最東部に位置し、店舗より霊峰白山が眺められ田園風景が一面に広がる、自然豊かなとても素晴らしい環境に恵まれた支店です。虫が飛び交い、清流が流れる中山間地で収穫される、栽培地限定生産の「蛭米」はJA小松市ブランド米として販売され「ふるさとのお味」として大好評であります。支店では日頃より地域密着型の店舗を目指し、地域活動こそがJA経営の原動力であり、組合員がJAに親しみをもつことが総合農協の強みと考えております。5月には地元青壮年部「絆プロジェクト」の一環として取り組みました、阪神大震災由来のひまわりの種「はるかのはまわり」の種まきに参加させていただき、また11月には松東地区の秋の大イベント「ふれあい松東まつり」にも各支部の青壮年部の協力として仲間に入れていただきました。あえてJAを前面に出さず、あくまでも地域の活動を後方から支援することをモットーに徹しております。

また、支店近くには社会福祉法人「JAきらら」があり、地域の高齢者がいつまでも住み慣れた環境で暮らせるようなJA福祉の施設もあり、とても充実しております。これからも地域活動の拠点として松東支店を位置付けるためにも、地域と密につながる必要があると感じており、自らの気づきと努力を怠ることのないように、10年後も見据えた活動もしていかなければならないと思っております。現在、14名の支店職員は組合員の方々やお客様に対し、いつでも最高の笑顔と熱き対応を心がけ、感謝の心を忘れずに支店一丸「ONE TEAM」となり、しっかりと取組んでいきます。これからも皆さまに愛される松東支店を目指し頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



松東支店支店長
園部 恭正



▲協力して「はるかのはまわり」を種まきました



▲満開となったひまわり畑



▲賑わいを見せる松東まつり



▲青壮年部と協力して松東まつりを盛り上げました